

## 第4学年 社会科学習指導案

授業者 1組29名 主任教諭 工藤 俊祐  
 2組29名 教諭 新井 詩織  
 3組29名 教諭 吉本 沙季子

### 1 単元名 『自然災害にそなえるまちづくり』

#### 2 単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自然災害から自身の身を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。

#### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 ②調べたことを年表などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して問いを見だし、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。 ②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、これらの働きを考えたり、地域で起こり得る災害を想定して、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。	①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②よりよい社会を考え、学習したことを基に、安全を守るために自分たちに出来ることを考えようとしている。

## 4 単元について

### (1) 学習指導要領との関連

本単元は、学習指導要領社会科・第4学年の目標及び内容(3)を受けて設定した。

#### 第4学年社会科の目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

内容(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。
- (イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

### (2) 指導計画と教材について

本単元では、東京都で過去に起きた自然災害の一例として、「関東大震災」について調べる。導入の段階では避難訓練などの生活体験を想起させ、過去の自然災害による被害等から学習問題を把握し、災害に対する課題や対策等についての見通しをもてるようにする。

過去の資料や校内の備蓄倉庫の見学、地域の人々の防災に対する取り組みについての学習を通して、先人の人々の工夫や願いなどについても触れて指導していく。

本時の学習では、防災会議を通して、実際に災害が起きた時にどのような対処をしたらいいのか、事前に準備しておいた方がよいものは何かなどについて考える活動を取り入れ、児童の防災意識を高めることができるよう指導していく。

## 5 児童の実態

本学年の児童は、地域に行ったり地域の方に来ていただいたりする学習を行う中で地域の良さに気付き、さらに知りたいという意欲が振り返りや発表から感じられる。これは、3年生の社会科の学習で地域めぐりをした結果であると考えられる。本単元では、児童からもっと知りたい、学びたいという思いを高めるために、地域の関係機関から話を聞く機会を設け、実生活と既習事項を関連させていく。

## 6 研究主題に迫る手だて

本校の考える社会科で目指す「深い学び」の姿

既習事項や自身で集めた情報をつないで課題を解決することで、知識や情報、他者の考えに価値を見いだすことができるとともに、自身ができることを選択・判断し、生活に生かすことができる児童。

本単元で目指す子どもの姿

学んだことを基にして、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分にできることを考えることができる。

### (1) 地域資源の活用

#### ①関係諸機関の人々の話

災害時の活動や人々の思いや願いを荒川区役所防災課の方に直接聞くことで、様々な人々の協力によりくらしが守られていることに気付けるようにした。また、自分たちの疑問や知りたいことを聞き課題を追究することで、目的意識をもって地域に進んで関わるようにした。

#### ②地域防災マップの活用

汐入の町の防災マップを活用することで、実際に災害が起きたらどのように身を守るのか、自分事として捉えることができるようにした。そして、地域を歩き防災施設や避難場所を実際に確認することで、災害時に自分の身を自分で守る意識が高まるようにした。

#### ③地域防災資料集の作成

地域の防災を学ぶ資料集を作成した。関東災害年表、関東大震災の様子を載せ、関東直下型地震を身近な問題として捉えさせたり、地域の昔と今の写真を載せ、防災の町づくりのために様々な人々の努力があったことに気付かせたりするなど、地域に誇りと愛情をもちながら防災について考えることができるようにした。

### (2) 単元構成の工夫

導入時に都内で過去に起こった主な自然災害を取り上げ、様々な災害が繰り返し起こっていることに気付かせる。そして、その中で大正12(1923)年の関東大震災を取り上げる。この災害は近代日本の首都圏に甚大な被害をもたらした。地震そのものの被害だけではなく、火災や津波、土砂災害によって被害は拡大した。特に火災によって、多くの焼死者を出した。このことから災害発生のメカニズムやどのような影響を及ぼすのか具体的なイメージをもちやすい事例と言える。ここで学んだことを生かし、今後予想される首都直下型地震への対応や備えについて、社会的事象の

見方・考え方（事象や人々の相互関係）を働かせながら、関心をもって主体的に追究できるようにする。

(3) **思考を深めたり、広げたりする活動**

①学習の流れの揭示

これまでの社会科学習の時間等で培ってきた、課題解決学習の流れ（課題を見付ける→計画を立てる→調べる→まとめて、伝え合う→生かす→振り返る、新たな疑問）を提示し、折に触れて確認することで、見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。

②振り返りの充実

児童が振り返りをする際に、どのポイントを振り返ればよいか確認する。その際、視覚的な補助として黒板に本時で振り返る番号を掲示する。

**7 指導と評価の計画（全9時間）**

時間	ねらい	○主な学習活動 ・内容	資料	◆【評価基準】(評価方法) ☆研究主題に迫る手だて
1	各地で起こる様々な自然災害の写真を読み取り、自分たちの地域で特に起こりやすい自然災害を調べる対象として選ぶ。	<p>○首都直下地震は30年以内に70%の確率で発生すると予測されていることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東京都では、どのような自然災害があったのだろうか。</p> </div> <p>○自然災害の写真を見て感じたことや、自然災害について知っていることなどを発表し、自分たちの地域ではどのような自然災害が起こるのかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害には様々な種類があり、自分たちの地域でも起こりやすい自然災害や発生が予想される自然災害がある。</li> </ul>	<p>東京防災 (TOKYO X DAY) 緊急地震速報 被災地の写真 3.11を忘れない (写真・年表) 自然災害の年表 関東大震災の被害地図</p>	<p>◆【知一①】 過去に発生した自然災害を知り、災害に対する備えの大切さを理解することができる。(発言・行動) ☆(1)地域資源の活用③</p>
2	自分たちの地域で過去に起きた地震に着目し、地震が繰り返し起こってきたことを理解する。	<p>○区役所防災課の起震車体験を通して、都内で過去に起こった地震について、係の人から話を聞いたり、年表や資料などを見たりして調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都内ではこれまでも大きな地震が繰り返し起こってきた。</li> </ul>	<p>起震車体験 防災課担当者へのインタビュー</p>	<p>◆【知一①】 地域では過去に大きな地震が起きたことがあり、今後も大きな地震の発生が予想されていることを理解している。(発言・ノート) ☆(1)地域資源の活用①</p>

<p>3 (4年3組 本時)</p>	<p>家庭や学校などの地震への対策に着目し、地震に備える地域の取組について調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○今、東京で大地震(M7.3)が起きた時の被害を知る。          ・人(死者、負傷者、避難者)や建物の倒壊、ライフライン(停電、ガス停電、断水)など具体的に起こること。          ○地震の災害と、それらへの備えについて知りたいことを話し合い、調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。          ・自分たちの身の回りには地震に備える取組がある。          ・自分たちの地域の地震に対する備えについて調べるための学習計画を立てる。</p>	<p>首都直下地震の動画(内閣府防災)          小学校備蓄倉庫(6階、7階)</p>	<p>◆【思一①】          地震やその備えについて気になることを話し合い、それらを基に問いを見だし、学習問題として表現している。(発言・ノート)          ◆【主一①】          自分たちの地域の地震の備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発言・ノート)          ☆(2) 単元構成の工夫</p>
<p>【学習問題】わたしたちの地域では、地震に備えて、誰がどのような取組をしていて、自分たちはどのような備えができるのだろうか。</p>				
<p>4</p>	<p>地震に備える区の取り組みに着目し、都や国などの関係機関の協力の仕組みについて理解する。</p>	<p>○区役所の係の人の話を基に地震に備える区や都、その他の関係機関の働きについて調べ、ノートや図にまとめる。          ・区や都は消防や警察などの関係機関と協力して地震に備えている。</p>	<p>防災課担当者へのインタビュー</p>	<p>◆【知一②】          区は、地震の際に住民を守るために、都や国などの関係機関と協力していることや、地震に備えて地域防災計画などを作成していることを理解している。(発言・ノート)          ☆(1) 地域資源の活用①</p>
<p>5</p>	<p>地震に備える区の取り組みに着目し、住民の安全を守るためには、地震に関する情報の収集や提供が大切であることを理解する。</p>	<p>○地震発生時に区はどのような情報を収集し、住民に発信しているか、また、災害への備えとして、日頃よりどのような情報を収集・提供しているかについて、区役所の係の人の話を基に調べる。          ・地震発生時に区は都や国、関係機関と協力して正確な情報を迅速に収集する。          ・地震に備えるために普段から様々な情報を収集し、住民に提供している。</p>	<p>防災課担当者へのインタビュー</p>	<p>◆【知一②】          区は大きな地震の発生に備えて、日頃から災害時の避難に関する情報を提供していることや、地震発生時には住民に正確な情報を早く届ける努力をしていることを理解している。(発言・ノート)          ☆(1) 地域資源の活用①</p>

6	地震に備える区への取り組みに着目し、住民の安全を守るために必要な施設や設備と、それらの役割について理解する。	<p>○地域にある避難地や避難施設、防災設備と、それらの設置されている場所について区役所の係の人の話を聞き、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地に指定されている公園などには、避難者の生活を支えるための設備が区によって設けられている。</li> <li>・避難施設は予想される災害の大きさに備えて、区が計画的に設置している。</li> </ul>	区役所の係の人のインタビュー 荒川区ホームページ	<p>◆【知一②】 区は、大きな地震の発生時に住民を避難させるための施設や、避難地で生活するための設備をつくって、地震に備えていることを理解している。(発言・ノート)</p> <p>☆(1) 地域資源の活用①</p>
7 (4年2組 本時)	地域の人々による地震への備えに着目し、自分ができることに日頃から取り組むことの大切さを理解する。	<p>○地域の自治会や住民の自主防災の取り組みについて話を聞いたり、自主防災倉庫の資料を基に調べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々は、地震に備えるために、日頃から自分たちができる取り組みをしている。</li> </ul>	町会の人々のインタビュー 防災倉庫の写真	<p>◆【知一①】 地域の人々は、地震に備えて、日頃から自分たちができる取り組みを行っていることを理解している。(発言・ノート)</p> <p>☆(1) 地域資源の活用①</p>
8 (4年1組 本時)	地震に備える人々の様々な取組に着目し、より確実に身を守るために大切なことを捉える。	<p>○様々な状況での災害発生を想定した避難訓練や、災害時に主体的に判断して身を守った事例などを知り、災害時に身を守るために大切なことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な状況を想定した避難訓練が行われている。</li> <li>・実際の災害でも、身を守るためには、主体的に判断し避難することが大切である。</li> </ul>	他地域の避難訓練の動画 防災教育VR 「B-VR」	<p>◆【主一②】 身の安全を確実に守っていくためには、既存の災害対策に頼るだけでなく、自分自身で主体的に判断しようとしている。(発言・ノート)</p> <p>◆【思一②】 それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分はどういう行動がよいか考えて、友達と話し合うことができる。(ノート・発言)</p> <p>☆(1) 地域資源の活用②</p>
9	地域の地震に備える取組を振り返	○大きな地震の発生に備えて誰がどのような取組をしているか、また、実際に地震が発生すると、誰がどのように		◆【思一①】 学習問題を確かめ、自分たちの地域が地震被害にど

	<p>り、学習問題について自分の考えをまとめる。災害に備える取組について、自分たちに実践できることを考え、表現する。</p>	<p>して人々の命を守るのかについて、調べてきたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地域では、様々な関係機関や地域の人々が協力して地震災害に備えていること。地域の一員として、地震災害に備えて自分にできる取組がある。</li> </ul>	<p>のように備えているのかについて表現している。 (発言・ノート)</p> <p>◆【主一①】 地震災害に備えるために自分が協力できることを考え、学習したことを踏まえて選択・判断し、実践しようとしている。(発言・行動)</p> <p>☆(3) 思考を深めたり、広げたりする活動②</p>
--	--	--	--

## 8—1 本時の学習(3/9)[4年3組]

### (1) 目標

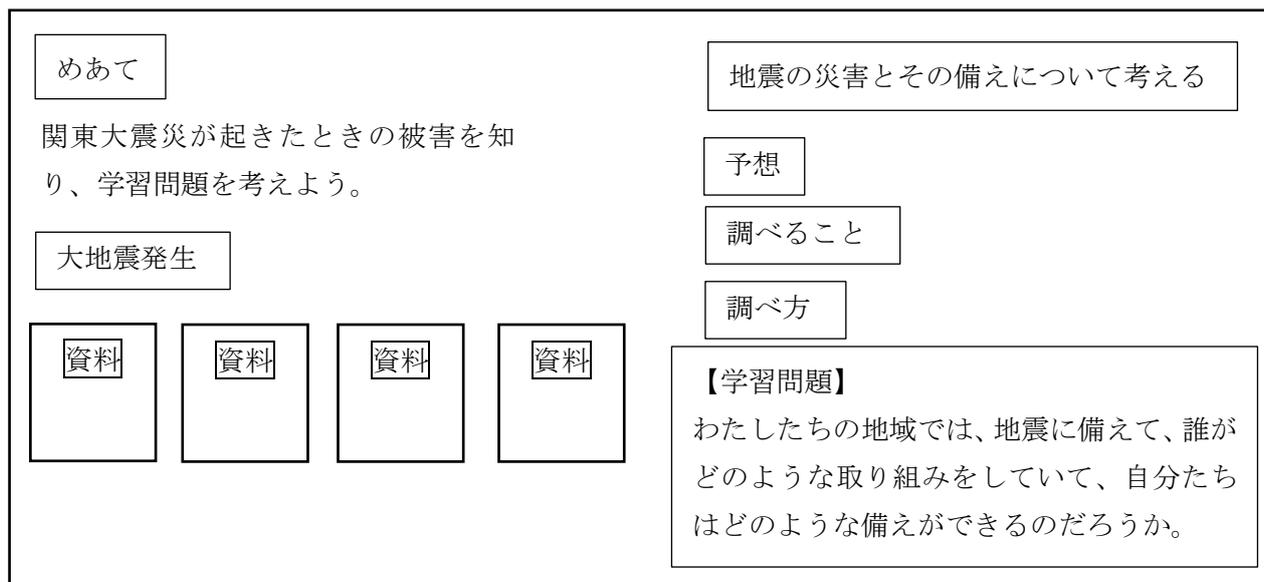
家庭や学校などの地震の対策に着目し、地震に備える地域の取組について調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。

### (2) 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C：予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】(評価方法) ※資料 ☆研究主題に迫る手だて
3分	<p>○地震が起きた時の家庭の備え、学校の備えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災グッズが入ったバッグを作っている。</li> <li>・学校の6、7階の倉庫には備えがある。</li> </ul>	<p>□家庭の防災の備えを事前に調べてくる。</p> <p>※備蓄倉庫(6、7階)の様子(写真)</p>
<p>関東大震災が起きたときの被害を知り、学習問題を考えよう。</p>		
37分	<p>○今、東京で大地震(M7.3)が起きた時の被害を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人や建物の倒壊、ライフラインなど具体的に起こることを個人で考え、グループで話し合う。</li> </ul> <p>C：「建物が崩れて、道路が歩けなくなる。」 C：「家族が離れ離れになっている」 C：「電気が使えない。」</p> <p>○地震の災害と、それらへの備えについて知りたことを話し合い、調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <p>&lt;予想したこと&gt; 事故や火災の場合と同じように、地域にも、地震にそなえるしくみがあるのではないか。</p> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の地震に備える仕組</li> <li>・地域に備える施設</li> <li>・地域に暮らす人々の備え</li> </ul> <p>&lt;調べ方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所の人に話を聞く ・地域の人に話を聞く</li> <li>・区のパンフレット、HPなどの資料で調べる。</li> </ul>	<p>※首都直下地震の動画(内閣府防災)</p> <p>□緊急地震速報が流れることを伝える。</p> <p>◆【思一①】 地震やその備えについて気になることを話し合い、それらを基に問いを見いだししている。(発言・ノート)</p> <p>&lt;支援を要する児童への手だて&gt; 話し合いに参加し、自分の疑問を友達に伝えるよう助言する。</p> <p>□自分たちの身の回りには地震に備えるためにどのような取組があるのかを想起させた上で、自分たちの地域の地震に対する備えについて調べるための学習計画を立てる。</p> <p>☆(2) 単元構成の工夫</p> <p>□災害時に自分の身を自分で守る意識が高まるような計画を立てる。</p> <p>◆【主一①】 自分たちの地域の地震の備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。(発言・ノート)</p>
<p>【学習問題】わたしたちの地域では、地震に備えて、誰がどのような取組をしていて、自分たちはどのような備えができるのだろうか。</p>		

5 分	<p>○地震に備えて、誰がどのような取組をしているか考えられたかという視点で振り返りを書く。</p> <p>C：地震が起こった時、家族や自分の命を守るにはどうしたらいいのか学んでいきたい。</p> <p>C：わたしたちの住む汐入地区にも災害への備えがあるのか知りたい。</p>	<p>□「ふりかえりシート」を活用し、本時のめあてが達成できたかを振り返る。</p>
--------	--	--

### (3) 板書計画



## 8—2 本時の学習(7/9) [4年2組]

### (1) 目標

地域の人々による地震災害への日頃からの備えの大切さを理解し、自分にできることを考えることができる。

時間	○主な学習活動 ・内容 C：予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】(評価方法) ※資料 ☆研究主題に迫る手だて
3分	<p>○前時までの振り返りをする。</p> <p>C：汐入公園には、区が作った避難をした人の生活を支える設備がある。</p> <p>C：避難施設は、予想される災害に備えて、区が計画的に設置している。</p>	<p>□前時までに学習した、東京都や荒川区の地震への備えを想起し、地域の取組を考えることにつなげる。</p>
<p>地域に暮らす人々は、地震に備えてどのような取組をしているのだろう。</p>		
37分	<p>○自治会の人のお話を聞き、地震に対してどのような取組をしているか理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災フェスタを開き、地震から身を守る方法を地域の人に伝えている。</li> <li>・地域の中学校と合同の防災訓練を実施し、簡易トイレや段ボールベッドの組み立てを行っている。</li> <li>・区の訓練に参加している。</li> <li>・汐入地域は地区内残留地区とあたるため、住民が自分の家で避難生活が送れるよう、食料や水などの備蓄を呼び掛けている。</li> </ul> <p>○自治体の人々が地震に備えて行っていることを知り、自分にできることを考える。</p> <p>C：自宅に避難用バッグを用意する。</p> <p>C：家族との待ち合わせ場所を決める。</p> <p>C：家族と一緒に防災訓練に参加する。</p>	<p>□大事だと思ったことをノートにメモするように伝える。</p> <p>☆(1) 地域資源の活用①</p> <p>□自分の暮らす地域の防災に取り組んでいる方の声を聞くことで、自分事として捉えられるようにする。</p> <p>※防災フェスタのポスター</p> <p>※第三中学校との合同訓練の写真</p> <p>※簡易トイレ</p> <p>※段ボールベッドの写真</p> <p>※備蓄倉庫の写真</p> <p>◆【知一②】</p> <p>地域の人々は、日ごろから地震に備えた取組みを、協力して行っていることを理解している。(発言・ノート)</p> <p>&lt;支援を要する児童への手だて&gt;</p> <p>自治体の人のお話の中で、自分にもできそうなことがあるか考えるよう助言する</p>
5分	<p>○地域の人々の思いに気付き、取組の大切さを理解し、自分にできることを考えるという視点をもって振り返る。</p> <p>C：防災フェスタに参加したいと思った。</p> <p>C：自治会の地震への取組はわかった。</p>	<p>□「ふりかえりシート」を活用し、本時のめあてが達成できたかを振り返る。</p>

(3) 板書計画

地域に暮らす人々は、地震に備えて  
どのような取組をしているのだろう。

- 自治会での取組
- ・防災フェスタ
- ・区の訓練に参加
- ・備蓄の呼びかけ
- ・三中との合同訓練
- 簡易トイレ
- 段ボールベッド

防災フェスタ  
のポスター

段ボール  
ベッドの写真

- 自治会の人への備え

- ・避難用バッグ
- ・待ち合わせ場所
- ・防災訓練に参加

- 自分にできること

- ・家族の連絡先を確認する。
- ・待ち合わせ場所を決める。
- ・家族と一緒に防災訓練に参加する。

### 8—3 本時の学習(8/9) [4年1組]

#### (1) 目標

地震に備える人々の様々な取り組みに着目し、より確実に身を守るために大切なことを捉える。

#### (2) 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C：予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】(評価方法) ※資料 ☆研究主題に迫る手だて
3分	<p>○前時までを振り返る。</p> <p>○実際に地震が発生したときに、身の安全を確保するためには何をすべきか考える。</p> <p>C：防災グッズの確認 C：危険な場所を知る</p> <p>C：避難訓練 C：防災について家族と話す</p> <p>○他地域の避難訓練の様子を見て、大切なことは何かを考える。</p> <p>C：自分で考える。</p> <p>C：実際に意識して行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           VR避難訓練を体験して、身の安全をたしかなものにしよう！         </div>	<p>□家庭や地域の備えについて確認する。</p> <p>□防災訓練において、ただ参加するのではなく、実際の災害を想像して考えて参加することを押さえる。</p> <p>※他地域の防災訓練の様子(写真や動画)</p>
37分	<p>○静止画を見せて、教室(家)がどんな危険な状態になるか個人で考え、グループで話し合う。</p> <p>C：黒板が倒れたり、窓ガラスが割れたりする。</p> <p>C：机や掃除用工具箱が倒れる。</p> <p>○VR動画を再生し、予想との共通点や相違点について見付けながら、どのように身を守ればいいのか、グループで話し合う。</p> <p>C：机や窓から離れて、近寄らない方がいい。</p> <p>C：むやみにその場から動かない。</p> <p>○教室グループと家グループでお互いに気付いたことを伝え合う。</p> <p>&lt;教室グループ&gt;</p> <p>C：蛍光灯が割れたら危ない。歩けなくなってしまう。</p> <p>C：ドアが歪んで教室から出られなくなるかもしれない。</p>	<p>※防災教育VR「B—VR」</p> <p>◆【主—②】</p> <p>身の安全を確実に守っていくためには、既存の災害対策に頼るだけでなく、自分自身で主体的に判断しようとしている。(発言・ノート)</p> <p>&lt;支援を要する児童への手だて&gt;</p> <p>地震が起きるとどんな事故が起きるか想起させてから考えるよう助言する。</p> <p>◆【思—②】</p> <p>それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分はどのような行動がよいか考えて、友達と話し合うことができる。(ノート・発言)</p>

	<p>&lt;家グループ&gt;</p> <p>C：重い冷蔵庫が倒れてきて危険なことが分かった。 C：食器棚から皿が飛び出してくることが分かった。</p> <p>○現在の教室内で危険な場所がないか生活班ごとに話し合い、対策を発表する。 C：教室のドアの前には物を置かないようにしよう。 C：揺れて動く物はないか、チェックをする。</p>	<p>☆（１）地域資源の活用②</p> <p><input type="checkbox"/> VR内で起きたことを踏まえて、自分の身を守る手だてを考え、防災意識を高める。 <input type="checkbox"/> 教室内を生活班ごとに回って確認する。</p>
5分	<p>○これから自分の身をどのように守っていこうと思ったのかという視点で振り返りを書く。 C：家に帰って、家具が倒れないか確認しようと思った。 C：他にも、揺れて危険な場所はないか確認をしたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 「ふりかえりシート」を活用し、本時のめあてが達成できたかを振り返る。</p>

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">VR避難訓練を通して、身の安全を確かなものにしよう！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて</div> <p>身を守るために大切なことが分かる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どんな危険なことが起こるか考えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板が倒れる</li> <li>・窓が割れる</li> <li>・掃除用工具箱が倒れる</li> </ul> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">1班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">2班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">3班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">4班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">5班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">6班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">7班</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">8班</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 150px;">※発表後に黒板に貼る</div>

